

プライマリースタート・ハーフコンボキット 取扱説明書

適応車種	モンキー / ゴリラ (Z50J-2000001 ~) (AB27-1000001 ~ 1899999)
------	--

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

お客様が購入されたキット内容となります。
仕様等をご確認の上、補修パーツ等のご購入の際はお間違えの無い様にお願い致します。

01-00-9050 88/106cc 仕様詳細	
トランスミッション	TAF5 速クロスミッション (S-Touring)
クラッチ	スペシャルクラッチ (WET/ワイヤー)
その他	スーパーカムチェーンテンショナー ダイハードαカムチェーン

他：取扱説明書が同梱しているパーツが組込み採用している商品です。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎当製品は、適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎このエンジンキットは、完成品ではありません。別途、シリンダーヘッドキット、シリンダーキット、カムシャフトキット、キャブレターキットが必要となり、各キットを組み付けて頂かないと車両搭載が出来ません。（シリンダーヘッド及びシリンダーキットは別紙を参照し、ご購入下さい。）
- ◎使用に必要なパーツは、別途ご購入して頂く必要があります。
- ◎クランクケース、トランスミッション等、ノーマルのモンキー/ゴリラとは異なる仕様となっており、モンキー/ゴリラ用パーツが取り付け出来ない箇所があります。ご注意ください。
- ◎当製品専用のパーツの取り扱い説明書は付属させておりません。
商品設定の無い部品につきましては、補修パーツ確認及び部品構成が確認出来る様、パーツリストを同梱させております。
商品取扱説明書が同梱していないパーツ部の補修パーツ確認は、同梱のパーツリストをご利用下さい。
取り付け要領等の記載資料は同梱させておりません。予めご了承下さい。
- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品取り付け時のエンジン取り外し、搭載等の作業要領は付属させておりません。適応車種の純正サービスマニュアルが必要となります。
純正サービスマニュアルを参照し作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には、適切な工具等を準備し、十分注意して作業を行って下さい。尚、取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。
取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行にはオイルクーラーキットの装着をお勧め致します。
- ◎必ず慣らし運転を行って下さい。
- ◎クランクケースにエンジン No. を刻印しています。部品注文時にエンジン No. 表記が必要になる場合があります。
- ◎空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損しエンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。
- ◎当製品はクロード競技用として開発した製品です、一般公道では使用出来ません。
- ◎各推奨パーツの詳細は、弊社総合カタログ又は WEB SITE をご参照下さい。
- ◎同梱していないパーツで指定の無い部品につきましては、ノーマル部品を使用して頂きます。
- ◎高圧縮のエンジン仕様につき、オートデコンプ仕様であってもキックスターターがノーマルより重くなります。弊社製キックスターターアームのご使用をお勧めします。

使用エンジンオイルについて

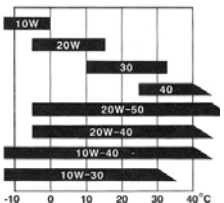
◇エンジンオイルについては、推奨エンジンオイルをご使用下さい。

推奨：ホンダ純正ウルトラ G2 又は S9（4 サイクル二輪車用）SAE10W-30 を基準に外気温及び使用用途にて粘度を選択。

相当品を使用する場合、次の条件を満たしている物をご使用下さい。

- ・ API 分類 SF、SG 又は、SG 級以上の相当品
- ・ JASO 規格：MA、MB
- ・ SAE 規格：外気温に応じて適した粘度のオイルを使用して下さい。

エンジンオイル量：約 850cc



注）エンジンオイルは、推奨エンジンオイルをご使用下さい。エンジンオイルの種類によっては、添加剤等が含まれている物が存在し、その様なエンジンオイルを使用した場合、エンジンに悪影響を与えるだけではなく最悪の場合、部品破損によりエンジンを破損させる可能性があります。

搭載車両の仕様について

◇下記の変更部パーツを参照し、搭載可能であるかを確認し、変更が必要な場合仕様変更を行って下さい。

品番及び排気量	各パーツ	詳細
01-00-9050：88/106cc	ホイールサイズ	出力向上につきインチアップホイールを推奨
	フロントフォーク	出力向上につきフロントフォークキットを推奨
	リアフォーク	フロントフォークキット推奨に伴いリアスイングアームキット推奨
	最終減速比	ノーマル使用不可　ドライブ/ドリブンスプロケット交換必要（目安 8 インチ時 2.1 ～ 2.5） （目安 10 インチ時 2.3 ～ 2.7）
	オイルクーラー	発熱量アップにつきオイルクーラー使用を推奨
	オイルキャッチタンク	クランクケース内圧量アップにつきオイルキャッチタンク使用必要 レースレギュレーションに合わせ選択

※減速比はあくまでも目安ですので体重、仕様、使用条件により変化します。
必ず参考として下さい。

※推奨パーツ各種の詳細は弊社総合カタログ又は WEB SITE でご確認下さい。

A. C. G. について

◇このキットは点火系レスとなっております。点火系は、ノーマル又は弊社製キットのみの対応となっております。

他メーカーパーツは、仕様様がわからない為、使用はご遠慮下さい。従来の性能が発揮されない場合があります、最悪の場合、エンジンが破損する可能性があります。

◇ノーマルの点火系は使用可能ですが、エンジンのレスポンスが非常に良い為、弊社製 SS ローターキットの使用を強く推奨します。

取り付けには、ニュートラルのハーネスを加工して頂く必要があります。

(取り付け要領参照)

◇SS ローターキット使用の場合、弊社製 CDI キットの使用を強く推奨します。

●本クランクケースには、管理 No. としてエンジン No. (シリアル) を打刻しております。

リペアパーツ発注時やお問い合わせ時、このエンジン No. が必要となります。



エンジン No. 打刻位置
2SMP-*****

～特徴～

☆このハーフコンボキットは、モンキー/ゴリラ系エンジンのプライマリースタート方式のクランクケース部の組み立て済みキットです。プライマリースタート方式専用設計の強化クランクケースに、各排気量のパーツ及び専用クラッチをコンプリート Eng. 同様に弊社にて組み立てております。

シリンダーから上部は、弊社モンキー/ゴリラ用のキットがそのまま取り付け出来る様になっております。

●プライマリキックスターターの採用

◇キックスタート方式を、従来の方式からプライマリキック方式に変更しております。

プライマリキック方式にする事により、クラッチ操作を行う事により、どのギア位置でもキックスタート操作を行える様になります。

特に、オフロード競技には有効なシステムです。

●湿式多板スペシャルクラッチの採用

◇ハイパワーに対応出来る様、フリクションディスク 5 板の多板クラッチ本体をトランスミッションメインシャフト側に取り付け、クランクシャフトの耐久性とスロットルレスポンスを向上させています。

クラッチカバーには信頼性の高いカートリッジ製オイルフィルターを採用し、オイルクーラーをクラッチカバーから取り出すラインを設け、オプション設定でサーモスタットの装着が可能な構造となっております。又、クラッチカバーは軽量、マグネシウム製を採用しております。

標準でスリッパークラッチシステムを採用しています。エンジンブレーキ時にクラッチがスリップする事により必要以上のバックトルクを軽減し、後輪のホッピングが起こりにくくなり操縦性を向上させます。

●5速クロスレシオミッションの採用

◇トランスミッションをノーマル 4 速から 5 速クロスレシオにする事により、シフトアップ、シフトダウン、及びコーナーリングをスムーズ且つエンジンパワーを有効に使う事が出来ます。

採用ミッションは耐久性に定評のある TAF5 速を採用しています。

●オイルジェットの採用

◇クランクケースオイルライン部からピストン裏側にオイルをジェット噴射させ、冷却を行なうオイルジェット構造を採用しております。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■このパーツはクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で一般公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

■作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け近くに危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、純正サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

■運転者は、乗車時必ずヘルメット、保護具及び保護性の高い服を着用して下さい。

(ヘルメットを正しく装着していないと、万一の事故の際、死亡又は重大な傷害に至る恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



番号	部品名	数量	リペア品番
1	エンジンハーフ COMP.	1	_____
2	ウッドラフキー 4mm	1	00-01-0011
3	カムチェーン 82L	1	01-14-0002
4	カムチェーンテンショナーローラー	1	00-01-0376
5	プレーンワッシャ 10mm	1	00-00-0151 (10 ケ入り)
6	クラッチリリースアーム	1	22811-165-T00
7	クラッチリリースアームスプリング	1	22815-165-T00
8	フランジボルト 6x18	1	00-00-0880 (5 ケ入り)
9	ニュートラルスイッチ	1	35759-TCC-T00
10	ターミナル	1	00-00-0145 (3 ケ入り)
11	ニュートラルスイッチプレート	1	00-05-0257
12	フランジボルト 6x12	1	00-00-0878 (5 ケ入り)
13	クラッチケーブル 850mm	1	00-02-0133
14	ブレードホース 8x1000mm	1	00-07-0070
15	ホースクランプ 13.1	2	(ホースクランプ 2 ケ付)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

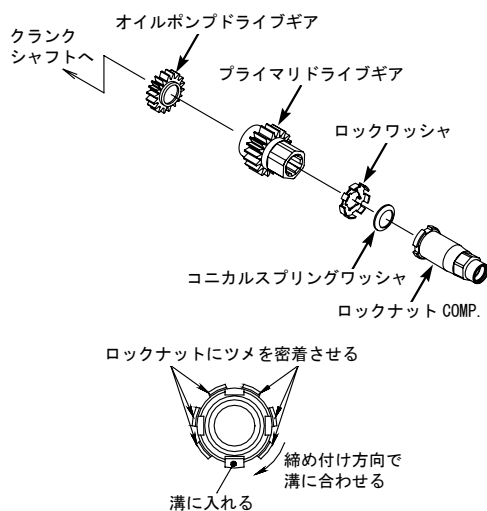
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

クラッチ部取り付け

組み付け

○クランクシャフトをロックした状態で、オイルポンプドライブギア、プライマリドライブギア、ロックワッシャ、コニカルスプリングワッシャを取り付け、ロックナット COMP. を規定トルクまで締め付け、ロックナットの溝にロックワッシャの爪を合わせ折り込みます。残りのロックワッシャの爪は、ロックナットに密着させます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：39N・m (4.0kgf・m)



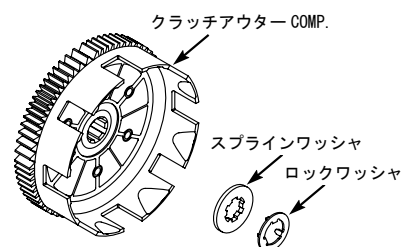
○クラッチアウターにプライマリスターターギアを組み込みます。



○トランスミッションメインシャフトに、スラストワッシャ B、クラッチアウター COMP. を取り付けます。



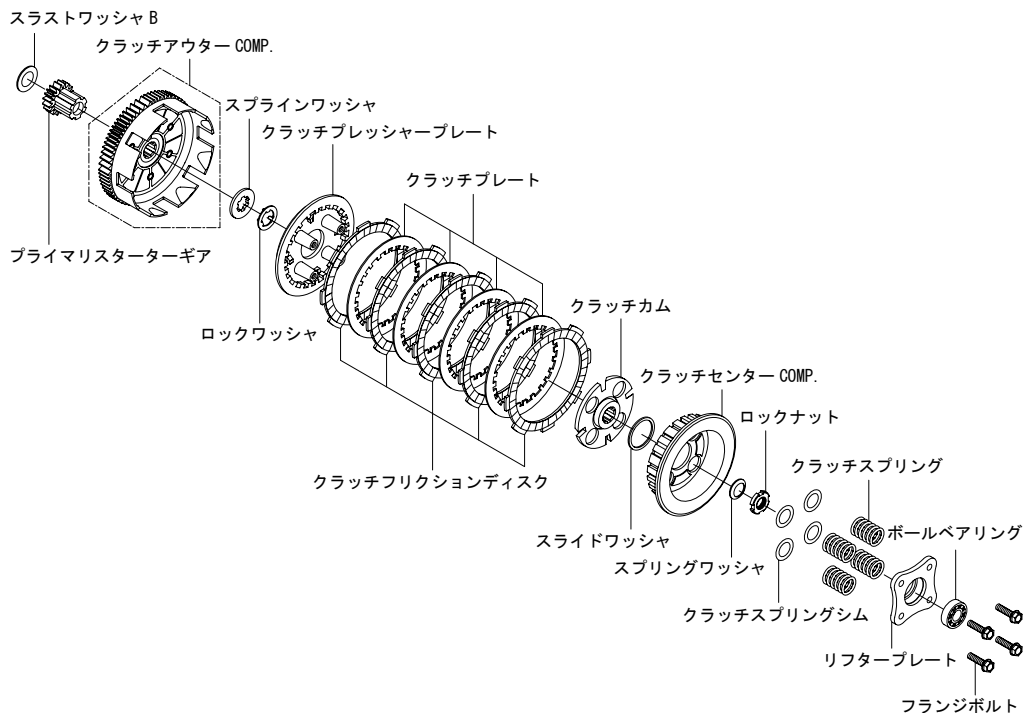
○クラッチアウターにスプラインワッシャを取り付け 30° 回転させてロックワッシャを取り付けます。



クラッチ組み付け

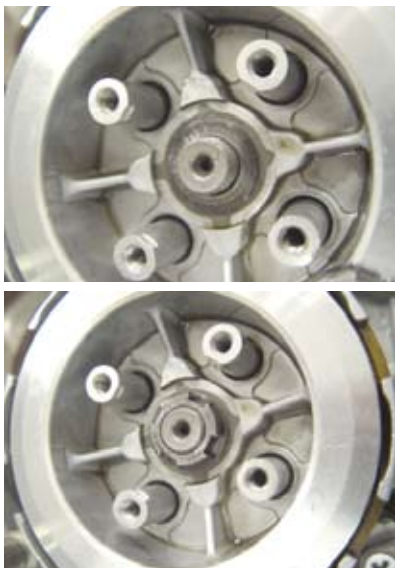
○図を参考に、クラッチプレッシャープレート、クラッチフリクションディスク、クラッチプレートを取り付けます。

※クラッチフリクションディスク両面にエンジンオイルを塗布して下さい。



○メインシャフトにスプリングワッシャ、ロックナットを組み込みます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：50N・m (5.0kgf・m)



○プレッシャープレートボス部にクラッチスプリング 4 本を入れ、クラッチリフタープレートをフランジボルトで取り付け、対角に 2 ～ 3 回に分けて規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



※この作業が完了した後、クラッチカバーの取り付け要領の組み付けから作業を行って下さい。

スリッパークラッチの場合、シムの取り付け枚数によりエンジンブレーキ時の滑り出しを調整出来ます。

シムを減らすほどエンジンブレーキ時にクラッチが滑り易くなりますが、車両の出力によっては加速時にクラッチが滑り出す場合がありますので、その場合はシムを追加し調整して下さい。

※シムの最大取り付け枚数は各 2 枚です。このキットには最大取り付け数の各 2 枚が取り付けられています。



クラッチカバー取り付け要領

(R. クランクケースカバー取り付け)

- ケース合わせ面を脱脂し、付属のノックピン2本とR. クランクケースカバーガasketをクランクケースに取り付けます。
- R. クランクケースカバー COMP. 内側のクラッチリリースラックが入っている事を確認し、フランジボルト6本をクランクケースに仮締めし、ケース中央から外側へと対角に規定トルクまで締め付けます。
- ※R. クランクケースカバーを斜めからこじて取り付けないようにして下さい。ロックナット部のオイルシールを傷めクランクの焼き付き等の原因となります。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- R. クランクケースカバーにオイルフィルタースプリングを入れ（ケースのボス部分にはまるように入れて下さい。）、オイルフィルターを入れ、オイルフィルターカバーをフランジボルトで規定トルクまで締め付けます。
- ※オイルフィルターがオイルフィルターカバーの突起部にささるようにして下さい。
- ※オイルフィルター交換時は、Oリングの当たり面及びオイルフィルターカバーのオイルを拭き取りOリング部に薄くグリスを塗布します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ※クラッチレバーは弊社製アジャスター付クラッチレバーへの交換を推奨します。
- クラッチケーブルに無理がかからない様にレシーバー部分までとり回します。
- クラッチケーブルエンドに少量のグリスを塗布し、クラッチリリースアームを入れます。
- ※クラッチリリースアームの切り欠き部が車両後方に向くように取り付けして下さい。
- クラッチケーブルのアジャスター部分をケーブルレシーバーに一杯までネジ込みます。
- リリースピニオンにブレンワッシャ、クラッチアームスプリング、クラッチケーブルのインナーを引っ張った状態のリリースアームを取り付けて、フランジボルトを使用し規定トルクまで締め付けます。

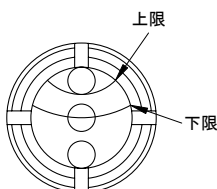
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

- クラッチケーブルレシーバーのアジャスト部分でクラッチの遊びを調整しロックナットを規定トルクまで締め付け、クラッチケーブルアジャスト部分のゴムキャップをそれぞれ被せます。
- ※遊びは、クラッチレバー先端で10～20mmに調整して下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ドレンボルト{T=21.5N・m(2.2kgf・m)}が締め付けてある事を確認した後、エンジンオイルを850cc注入しホールキャップにOリングを取り付け規定トルクまで締め付けます。
- ※ホールキャップのOリングに少量のエンジンオイルを塗布して下さい。
- ※エンジンオイルの粘度と量は、クラッチの切れ具合に影響します。エンジンオイルの粘度が高すぎる場合や入れすぎに注意して下さい。又、クラッチの滑りの原因となる為、モリブデン等添加剤の過剰混入はしないで下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



クランクケース分解時での目安

(組み付け後の点検)

- エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトしクラッチレバーを握ります。車両を動かした際リアホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しない事を確認して下さい。
- トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速度の走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

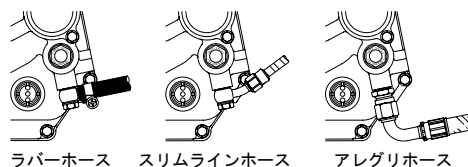
(サーモスタットユニット取り付け)

- サーモスタットホールキャップを取り外し、サーモスタットユニットを取り付けます。
- ※サーモスタットユニット取扱説明書をご確認下さい。
- ※サーモスタットユニット単体での使用は出来ません。

(オイルクーラー取り付け)

●サーモスタットユニットを取り付ける場合

- サーモスタットユニットを取り付けます。
- オイルプラグボルト2本を取り外し、使用するホースの種類に適合するアダプターを取り付け、ホースを接続します。
- ※サーモスタットユニット取扱説明書をご確認下さい。
- ※オイルクーラーキット取扱説明書及び、アダプター取扱説明書をご確認下さい。



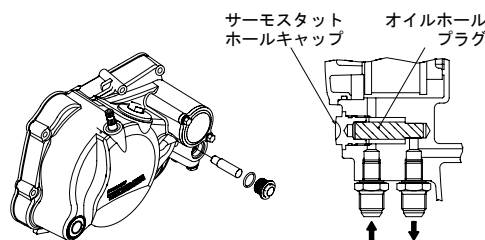
⚠ 注意：クラッチカバーにオイルホースを接続しない場合、サーモスタットユニット又は、オイルホールプラグを絶対に取り付けずに下さい。オイル通路が遮断され、エンジンが破損する可能性があります。

●サーモスタットユニットを取り付けない場合

- サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
- サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

- オイルプラグボルト2本を取り外し、使用するホースの種類に適合するアダプターを取り付け、ホースを接続します。
- ※オイルクーラーキット取扱説明書及び、アダプター取扱説明書をご確認下さい。



オイルクーラーを取り付けない場合

- サーモスタットユニットやオイルホールプラグは絶対に取り付けずに下さい。
- 又、サーモスタットユニットやオイルホールプラグが取り付けられている場合は、必ず取り外して下さい。

⚠ 注意：サーモスタットユニット又は、オイルホールプラグを取り付けた状態では、オイル通路が遮断され、エンジンが破損する可能性があります。

トランスミッション組み付け要領

○メインシャフトベアリングホルドプレートを取り付けます。

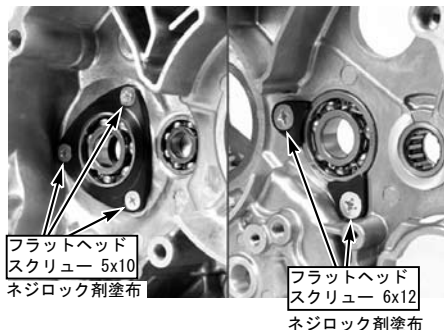
▲注意：必ず規定トルクを守る事。

フラットヘッドスクリュー 5x10

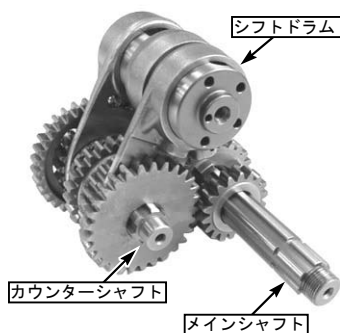
トルク：4N・m (0.4kgf・m)

フラットヘッドスクリュー 6x12

トルク：6～8N・m (0.6～0.8kgf・m)



○左クランクケース、シフトスビンドル用オイルシールのリップ部にグリスを塗布します。左右クランクケースのベアリング部分にオイルを塗布し、左クランクケースを台の上に置きます。メインシャフト側ウンターシャフト側の各ギア駆動部にオイルを塗布してメインシャフト、カウンタシャフトのギアを噛み合わせ、シフトフォークの爪をギアの溝に差し込みます。



○メインシャフト、カウンタシャフト、シフトドラムを一体で、クランクケースに、組み付けます。

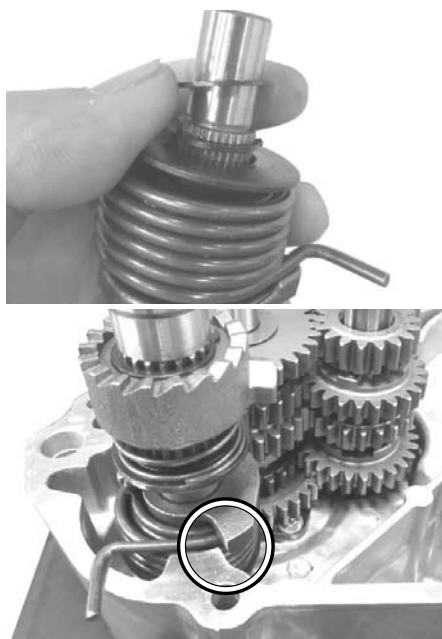
※ミッションがニュートラル状態で組み付けて下さい。

※スラストワッシャの組み忘れに注意して下さい。

※カウンタシャフト用オイルシールのリップがめくれ上がらない様に、注意してシャフトを取り付けて下さい。



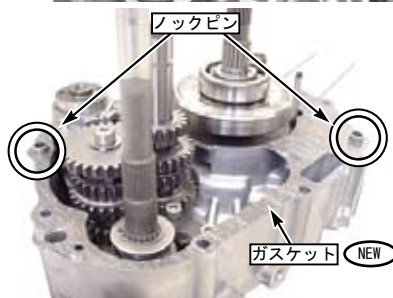
○スタートシャフトに、ワッシャ 22x14x1 を取り付け、クランクケースに、スタートシャフトを取り付けます。この時クランクケースの突起とキックスプリングリテーナーの突起部を合わせます。



○キックスタータースプリングをケースに引っ掛け取り付けます。



○カウンタシャフトにスラストワッシャ 14x26x0.5 を取り付け、左右クランクケース合わせ面を脱脂し、ノックピンを入れ新品のガスケットを取り付けます。

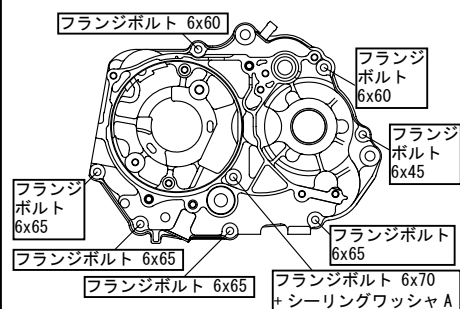


○R. クランクケースを合わせてL. クランクケースが上になるようにします。クランクケースボルトを取り付け対角に2～3回に分けて規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

クランクケースボルト

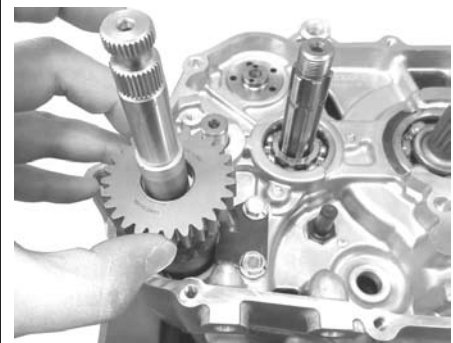
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○コンタクトスイッチプレートを取り付け、ソケットキャップスクリューを規定トルクで締め付けます。



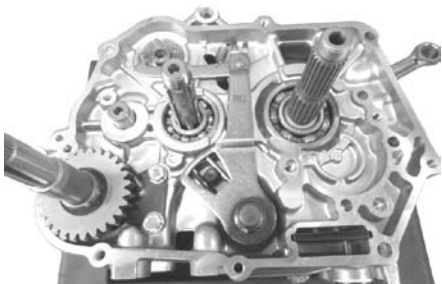
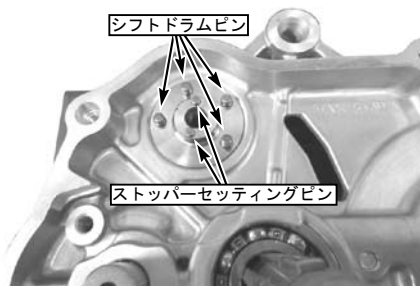
○スタートシャフトにワッシャ 27x20x1 を取り付け、キックスターターピニオンを取り付けます。



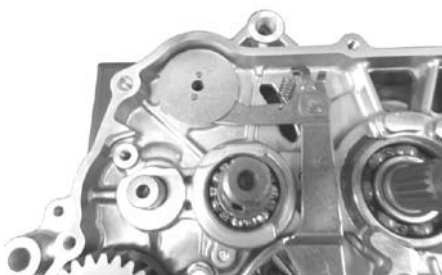
○スタートシャフトにワッシャ 27x20x1 を取り付け、スナップリング 20mm を取り付けます。



○シフトドラムにシフトドラムピン 4 本と
ストッパープレートセッティングピン 2 本を
取り付け、ギアシフトアームを取り付けます。

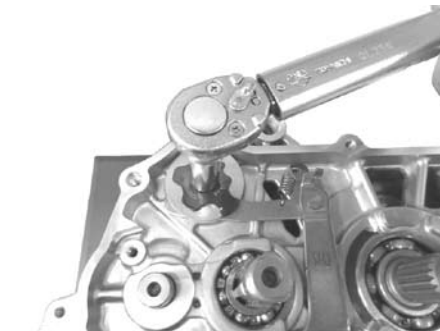
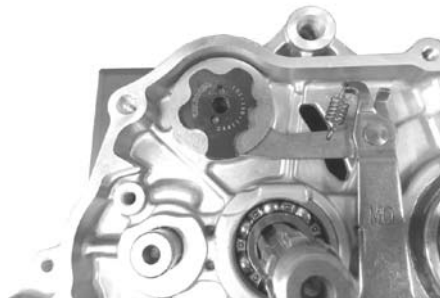


○シフトドラムサイドプレートの穴をシフト
ドラムセッティングピンに合わせて取り付け
ます。



○シフトドラムストッパープレートのマーキング
が見えるようにシフトドラムセッティングピン
に取り付けます。ノックボルトのネジ部にネジ
ロック剤を塗布して規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ノックボルト
トルク：16N・m (1.6kgf・m)



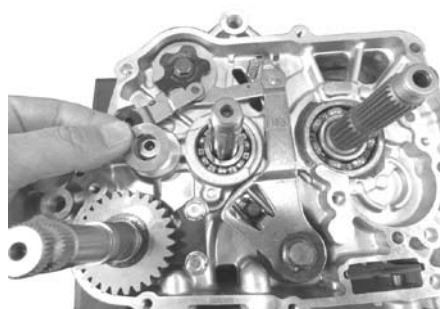
○ストッパーアームにスプリングをセットし、
ストッパープレートに合わせてケースに取り
付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○メインシャフトを手で回しながら、ストッパー
プレートのノックボルトをソケットレンチ等で
回転させギアの入り具合を確認します。
メインシャフト、カウンターシャフトにスラ
スト方向の遊びが有ることを確認します。

○カウンターシャフトにスラストワッシャ
14x26x0.5 を取り付けます。



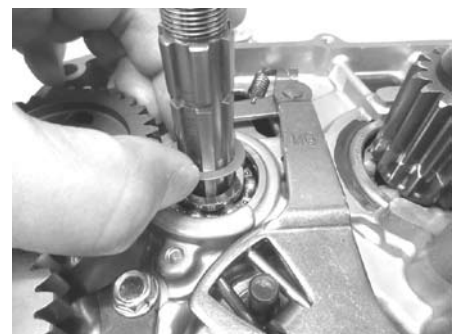
○カウンターシャフトにモリブデン溶液を塗布
し、スターターアイドルギアを取り付けます。



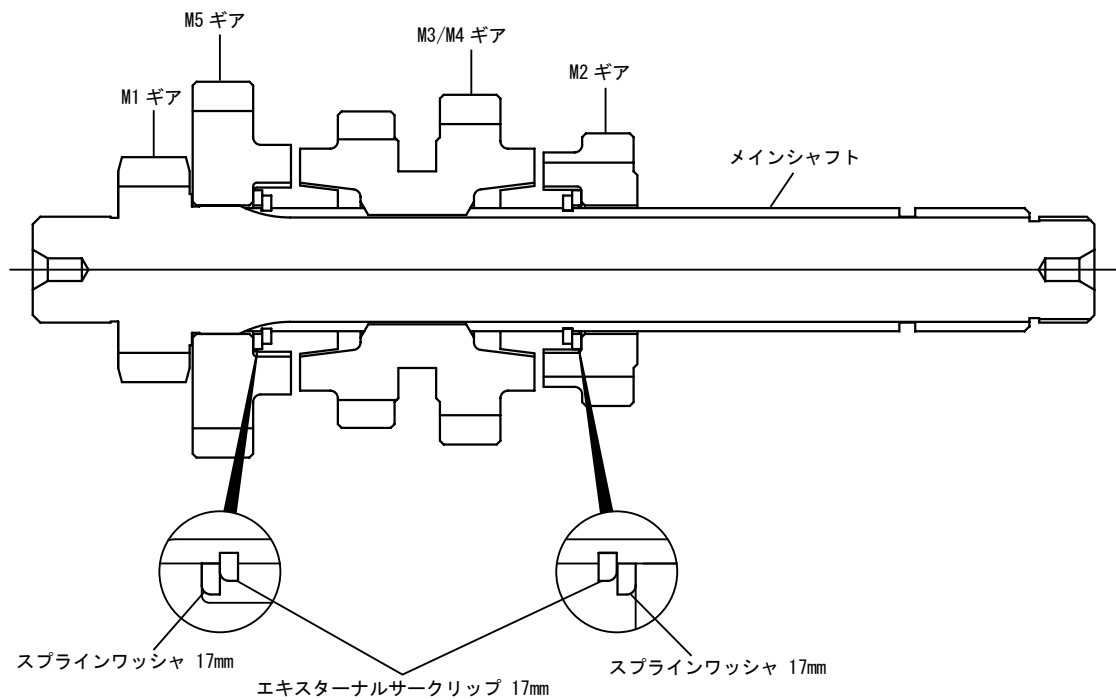
○スラストワッシャ 14x26x0.5 を取り付け、
C 型クリップ 14mm を取り付けます。



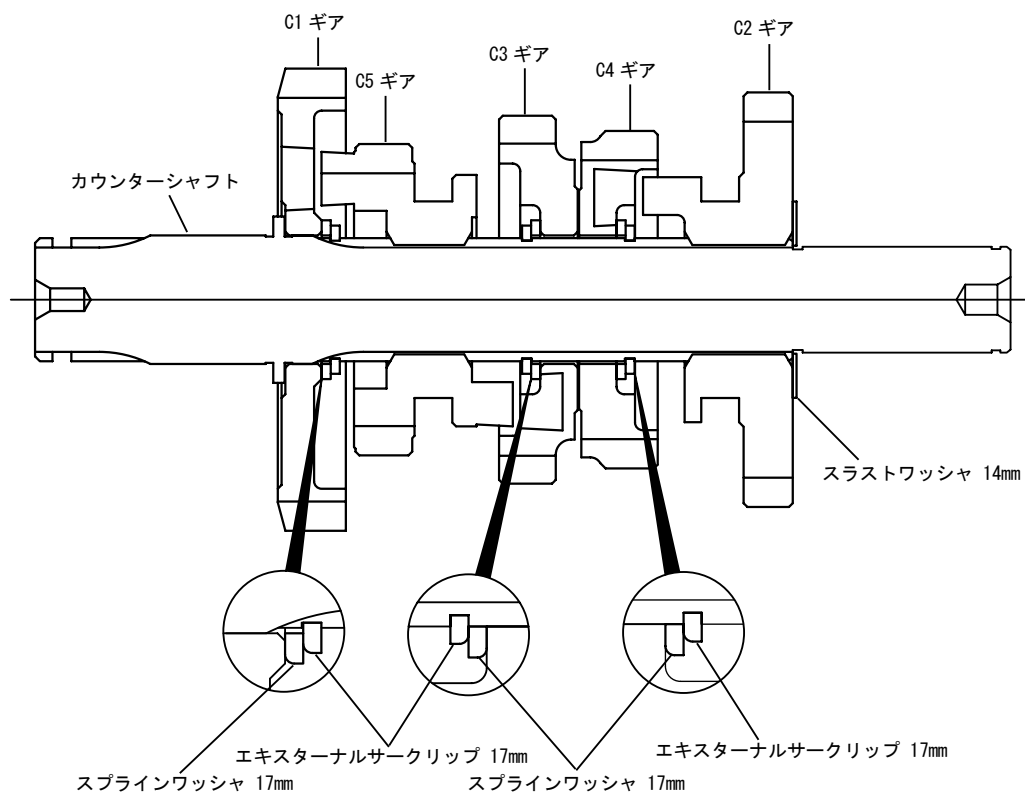
○メインシャフトにスラストワッシャ B を取り
付け、クラッチを取り付けます。



メインシャフト ASSY.



カウンターシャフト ASSY.



オイルポンプ組み付け要領

○クランクケースにノックピン 8x12 2 個を取り付けます。



○オイルポンプに少量のエンジンオイルを差しトロコイドポンプを回転させエンジンオイルを馴染ませます。



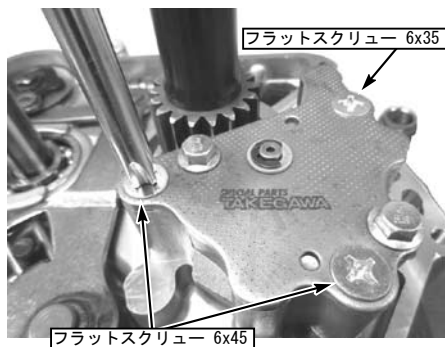
○オイルポンプドライブギアとオイルポンプのギアを噛合わせオイルポンプをクランクケースに取り付けます。



○オイルポンプをフラットスクリュー 6x35 1 本、フラットスクリュー 6x45 2 本を用いて取り付け規定トルクで締め付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。

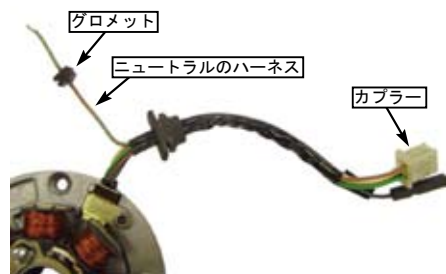
フラットスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



A. C. G. 取り付け

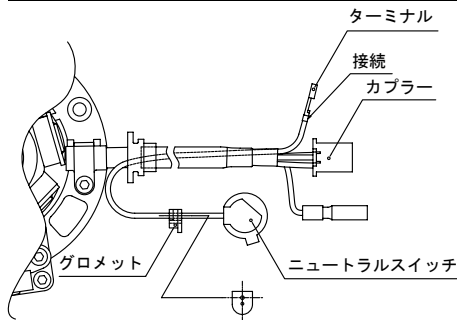
○ノーマル A. C. G. 使用時は、ノーマル Eng. からフライホイール及びジェネレータープレートを取り外します。

○ジェネレーターのニュートラルのハーネスからグロメットを取り外し、カプラーからターミナルを外し、ニュートラルのハーネスを取り外します。



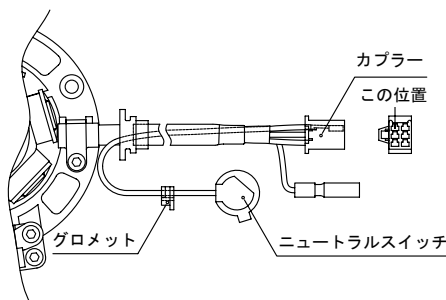
○キット内のニュートラルスイッチに取り外したグロメットを取り付け、取り外したニュートラルスイッチのハーネスと同様に取り回し、ハーネス先端にキット内のターミナルをギボシ端子と同じ要領で取り付けます。

⚠ 注意：取り付けには適切な圧着工具を使用する事。

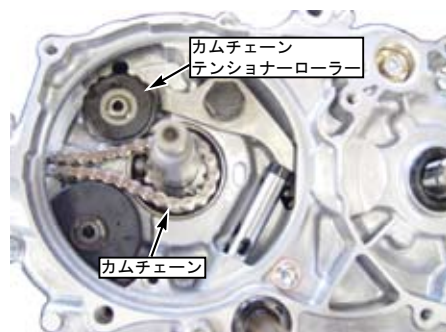


○取り付けしたターミナルをカプラーに取り付けます。

⚠ 注意：カプラーの取り付け位置に注意する事。



○キット内のカムチェーンをクランクシャフトに取り付け、カムチェーンテンショナーローラーをテンショナーアームに取り付けます。



○新品の O リングを 2 ヶ所に取り付けます。



○ジェネレータープレートを取り付け、フラットスクリューを締め付けます。



○ニュートラルスイッチをシフトドラムを固定しているホールに、切り欠き部を合わせ取り付けます。



☆プライマリースタート方式専用の SS ローターキットをご使用して頂くと、ハーネス加工無しでボルトオンで取り付けて頂けます。
品番：00-05-0109 (オプション)

○キット内のニュートラルスイッチプレートをキット内のフランジボルト 6x12 を用いて取り付け、ニュートラルスイッチを固定し、フランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

フランジボルト

トルク：9N・m (0.8kgf・m)



○グロメットをクランクケースにはめ込みます。

○使用するシリンダーキットの指示に従いピストン、シリンダーを取り付けます。

○クランクシャフトにウッドラフキーを取り付けます。

○クランクシャフト、フライホイール取り付け部をよく脱脂し、フライホイールを取り付けます。

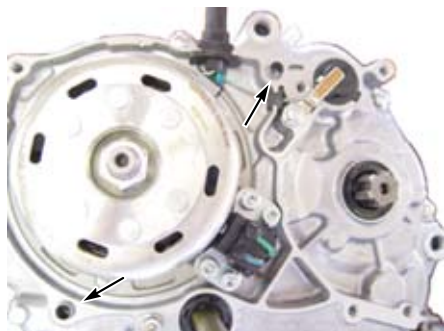
○使用するシリンダーヘッドの指示に従いシリンダーヘッドを取り付けます。

○クランクケースにノックピン 2 個を取り付け、ジェネレーターカバーを取り付け、4 本のボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：10N・m (1.0kgf・m)



エンジン取り付け

○搭載車両のサービスマニュアルを参照し、エンジンコンプリートをフレームに搭載します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

⚠ 警告：必ずサービスマニュアルの指示に従う事。

A. C. G. 接続

○SS ローター使用時は、搭載車両のサービスマニュアルを参照し、C. D. I. を取り外し、05-03-0003 の弊社製 C. D. I. を取り付けます。

○エンジン COMP. からの配線と、車両側の配線のカブラを接続します。

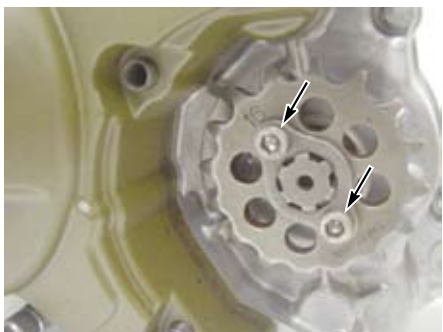
ドライブチェーン取り付け

○ジェネレーターカバーのスプロケットカバーを取り付けている3本のスクリューを外し、スプロケットカバーを取り外します。



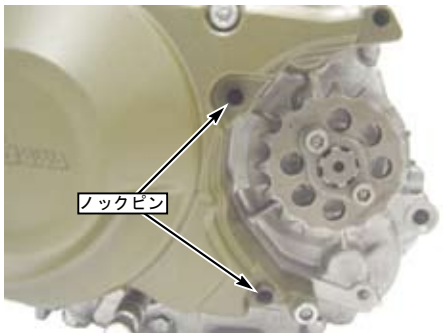
○ドライブスプロケット及びドライブチェーンを取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 ～ 15N・m (1.2 ～ 1.5kgf・m)



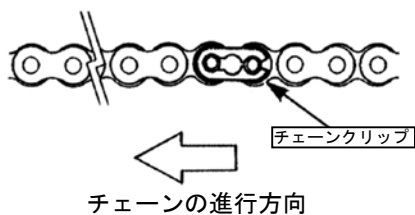
○ノックピン2本を取り付け、スプロケットカバーを取り付け、3本のスクリューを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○純正サービスマニュアル又は、使用するリアフォークの取り扱い説明書に従いドライブチェーンを取り付けます。

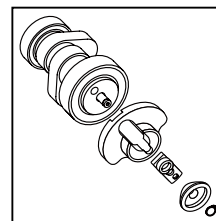
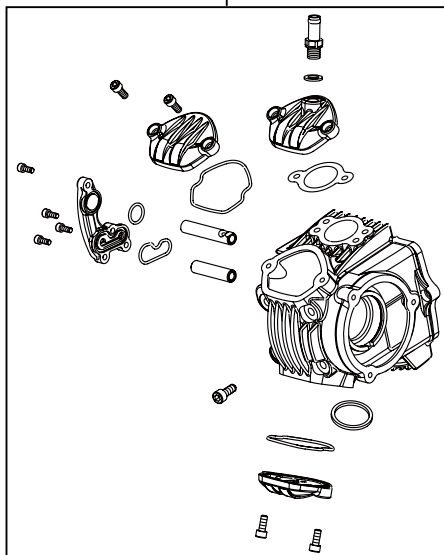
⚠ 注意：必ずサービスマニュアルの指示に従う事。



Super head 4V + R 参照表

01-03-0001

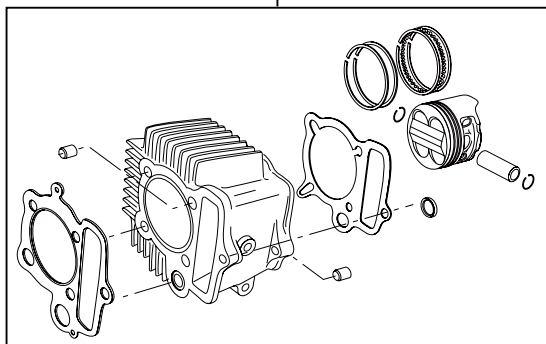
スーパーヘッド 4V+R シリンダーヘッドキット



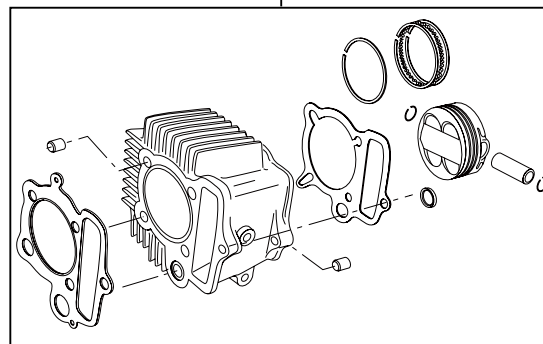
カムシャフト選択

01-08-0141	10/15D オートデコンプカムシャフト
01-08-0142	15/20D オートデコンプカムシャフト
01-08-0143	20/25D オートデコンプカムシャフト
01-08-0144	25/30D オートデコンプカムシャフト

01-04-8007 シリンダーキット 88cc



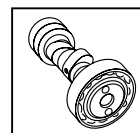
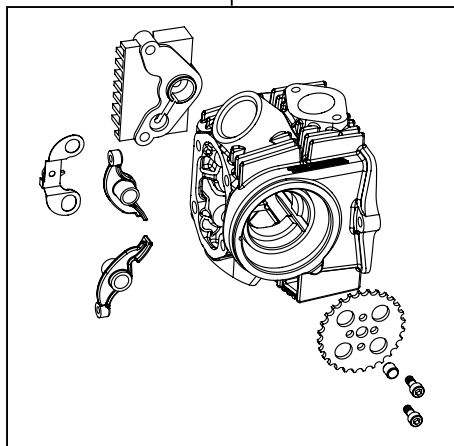
01-04-8003 シリンダーキット 106cc (スカットシリンダー)



17R-stage+D 参照表

01-03-0022

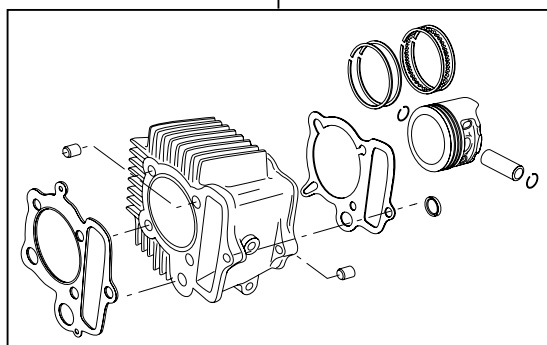
17R- ステージ +D シリンダーヘッドキット



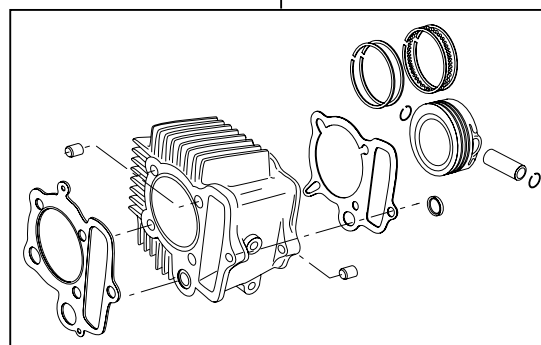
カムシャフト選択

01-08-0172	R-10E カムシャフト
01-08-0173	R-15E カムシャフト
01-08-0174	R-20E カムシャフト

01-04-7088H シリンダーキット 88cc



01-04-7004 シリンダーキット 106cc (スカットシリンダー)



重 要

エンジン始動時、ケッチンを受けるとエンジンがダメージを受け、最悪の場合エンジンが破損する事があります。

ケッチンを防ぐには次の手順に従って始動させて下さい。

キックペダルを軽く踏み込み重くなる位置を探します。キックペダルが重くなった所から元の位置まで戻し、キックペダルから足を外さずに、スロットルグリップを完全に閉じたままの状態で、一気に素早くキックペダルを最下部まで踏み込みます。

※エンジン始動時にスロットルを開ける事が、ケッチンを発生させる大きな原因の一つです。

エンジンが始動しない場合は、数回繰り返して下さい。

それでも始動しない場合は、他に原因があると思われます。

＜ 注 意 ＞

ケッチンによりエンジンが破損した場合は、高額な修理費が掛かります。